

がんと共に

～条例制定を力に「自分らしく生きぬける」岡山を～

生きる



基調
講演

「がん患者の抱える 社会的な問題について」

講師 **高橋 都**

国立がん研究センター がん対策情報センター
がんサバイバーシップ支援研究部長

プロフィール

■経歴:昭和59年岩手医大医学部卒業。東京慈恵会医大第一内科、立川中央病院内科などで
内科臨床に従事。平成21年獨協医科大学公衆衛生学准教授。平成25年4月より現職。
■著作:「がん患者のくせな性」新装版(共訳書:春秋社,2007)など多数。

2014年5月17日[土]

入場
無料

時間: 13:30~16:00 (開場13:00)

会場: 岡山県総合福祉会館 大ホール

プログラム

▶開 場 13:00

▶開会挨拶 13:30~13:35

第1部 13:35~15:20

1 基調講演 高橋 都

2 報告 ①「岡山県のがん患者の就労・療養に関するアンケート
調査の結果から見えてくる課題」

報告者:岡山大学病院 腫瘍センター長 田端 雅弘

②「がんと共に生きる日々の中で」

～患者・家族・遺族の同時体験者として～

報告者:患者代表 山邊 裕子 (岡山造血細胞移植患者会 きぼう 代表)

③「患者に寄り添い、在宅療養を支える」

報告者:在宅医療支援チーム「結」 赤瀬 佳代 (メッセンジャーナース)

④「患者・家族を支える相談支援センターの役割」

報告者:岡山大学病院 総合患者支援センター 日高 千陽 (医療ソーシャルワーカー)

(休憩)

第2部 15:25~15:55

座談会 コーディネーター:高橋 都

パネリスト:医師、患者代表、事業者代表、メッセンジャーナース、
相談支援センター相談員

▶閉会挨拶 15:55~16:00

※岡山県がん対策推進条例制定記念

がんの体験者・家族の願いは
「がんになっても、普通に暮らすこと」
「仕事と治療の両立」「治療費と生活」など
患者・家族が抱える悩みを共有し
『がんになっても自分らしく生き抜く』
社会のありかたを話し合います

- ◎参加費:無料
- ◎事前申し込み:不要
- ◎お問い合わせ:地域がんサロン たんぽぽカフェ
TEL090-5263-1275 (崎本)

岡山県総合福祉会館

岡山市北区石関町 2-1

TEL 086-226-3501

駐車場なし

